

楽しいいきいきサロン



折り紙で写真いれを作りました



アクリルたわしを作りました



編集後記

桃の節句も過ぎて春らしい陽気になりました。暖冬と予想されていましたが、厳しい寒さが続きました。いかがお過ごしでしょうか。

令和6年は元日の能登半島地震や連日のように報道されている感染症に不安を感じられた方もいらっしゃると思います。幸いにも陶山地区ではサロン活動・百歳体操・敬老会など通常通り行う事ができました。これもいつまでも「楽しく」過ごそうと思われている皆様のお心ぎけの賜物ではないでしょうか。

来年度もご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

社協陶山支部役員 (ha)



すやま社協だより

第32号
令和7年3月発行
社協陶山支部広報部



暑さ対策として開催を
2週間遅くしました



来ましたよ～

楽しんで下さいね



先輩に いろいろ聞きたい

いつまでも「楽しく」 入田編

関藤 敏子さん(入田)

今回は入田の関藤敏子さんを訪ねて、お話を伺いました。年齢を聞いてびっくりするほど若々しい関藤さんは91歳とのこと。何を聞いても、笑顔でさっと答えて下さいました。

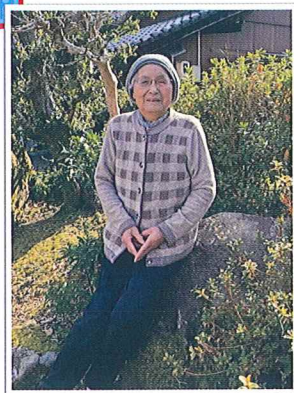
そんな関藤さんも戦時中はご苦労されたそうです。お父様が戦死されたため、お母様が苦労して育てて下さったそうで、食糧難の時代のことは若い世代にも話しておきたいと言われていました。きっと何不自由なく食べられることが当たり前の世代に、物の大切さを伝えたいと思われるのだと思いました。

若いころから笠岡市農協に勤め、最後は所長までされて定年を迎えられたそうです。

その後、陶山公民館の主事を8年され、その優しい人柄で地域の人に親しまれてきたことは皆さんもよくご存じだと思います。

趣味は多彩で、パッチワークや川柳、茶道などを20年以上続けて来られたそうです。

なかでも川柳は、古城山公園にある川柳公園に、年1回の大会で最優秀の人だけが立ててもらう石碑が建てられているそうです。お部屋の中にはパッチワークの作品や短冊に書かれた川柳がたくさん飾ってあり、楽しく過ごされているのが感じられました。骨折で足を悪くされてからは、リハビリのため週2回デューサービスに通われていて、転ばないようにし、できるだけ今の健康状態を維持していきたいと話して下さいました。



配食サービス



受賞おめでとうございます

表彰受賞者

関藤和恵さん

押撫地区

〈功績概要〉

いきいきサロン発足に関わり、永年に渡り社協陶山支部福祉委員として活動され、配食サービスにも積極的に取り組んでこられましたことは、他の人の模範となり、地域福祉活動の発展に寄与されています。

寄付のお礼

玉子100個 (株)采女ファーム様

配食サービスに活用させていただきました。ありがとうございました。

命のボタン Q & A

いのちのボタンをご存じですか

Q.いのちのボタンってどんな物？

A. いのちのボタンという専用の筒型プラスチック容器があって、その中に親族の連絡先やかかりつけ病院などの医療情報、お薬の情報、健康保険証の写しなどを入れ、冷蔵庫に保管しておき、万が一の時に備えるためのものです。



Q.どんな人が利用できるの？

A. 市内に住んでいる75歳以上の高齢者のみの世帯、体の不自由な人の世帯は利用できます。本人の同意を得ることが原則です。

Q.どうやって頼めばいいの？

A. 設置は社協陶山支部で行っていますので、支部の役員や福祉委員、民生委員までお問い合わせください。日常生活に不安があり、誰かに相談したいと思われる人は、気軽に相談してみてください。